

☆ 平成 26 年度 PRTR 報告について

PRTR 法により、年度毎に 1 トン（人に対して発がん性のある物質[\*]は 0.5 トン）以上の対象物質を使用している場合に報告が必要となります。また、特定施設（焼却施設等）からのダイオキシン類は、量に関係なく報告が必要です。焼却施設については平成 26 年夏から老朽化により稼働を中止していること及び宝町キャンパスの酸化エチレンの使用量の大幅減少により、平成 26 年度は角間キャンパスのクロロホルム、ジクロロメタン、n-ヘキサンについて報告しました。

以下に平成 26 年度の調査物質の取扱量（使用量）及び PRTR 報告値（ダイオキシン類を除く）を報告します。報告値は有効数字 2 桁（ただし取扱量は 3 桁又は小数点以下 1 桁）で報告しました。

●平成 26 年度の学内調査物質の使用量

使用量	角間キャンパス	宝町キャンパス
アセトニトリル	712 kg	111 kg
クロロホルム	3,470 kg	29.7kg
ホルムアルデヒド*	88.8kg	165 kg
キシレン	286 kg	862 kg
ベンゼン*	28.9kg	0.8kg
酸化エチレン*	3.9kg	65.5kg
N,N-ジメチルホルムアミド	27.9kg	1.8kg
ジクロロメタン	2,320 kg	19.2kg
トルエン	77.8kg	5.8kg
フェノール	6.1kg	58.0kg
n-ヘキサン	4,080 kg	26.9kg
パラホルムアルデヒド	5.1kg	16.0kg
1,2-ジクロロエタン	19.1kg	0 kg
トリクロロエチレン	0 kg	0 kg
1,4-ジオキサン	0.9kg	0 kg

●平成 26 年度 PRTR 報告値（角間キャンパス）

物質名	取扱量	大気への 排出量	公共水域へ の排出量	土壌への 排出量	埋立処分 量	下水道へ の移動量	他への移動 量（廃棄物）
クロロホルム	3,470 kg	140 kg	0.0 kg	0.0 kg	0.0 kg	0.1 kg	2,100 kg
ジクロロメタン	2,320 kg	79 kg	0.0 kg	0.0 kg	0.0 kg	0.1 kg	1,900 kg
n-ヘキサン	4,080 kg	130 kg	0.0 kg	0.0 kg	0.0 kg	0.0 kg	2,000 kg